

人文学部欧米文化学科・日本文化学科において開講される社会調査士認定科目を修めた者は、一般社団法人・社会調査協会に社会調査士の資格認定を申請することができる。社会調査士は、世論調査や公的統計、マーケティング・リサーチなど、いわゆる社会調査を実施して、結果を正しく分析、活用するための基本的な知識・技能を修得した者に対して、社会調査協会から認定される資格である。

社会調査協会では、社会調査士（キャンディデイト）が就職活動の際に、企画達成のための計画力や調整力をもっていることなどをアピールするのにも役立つと説明している。資格の詳細については社会調査協会ホームページ（[www.jasr.or.jp/students](http://www.jasr.or.jp/students)）を参照するとよい。一般に、この資格の取得には、下記の表のA～Gの科目のうち6科目（EとFはいずれかを選択）を修得した上で、大学を卒業することが要件となる。

人文学部（欧米文化学科と日本文化学科のみ）において社会調査士資格を希望する者は、下記A～EおよびGの6科目を修得して、大学を卒業することでこの資格を取得できる。

社会調査士科目標準カリキュラム	本学での科目名	単位		開講期		学年
		必修	選択必修	春	秋	
【A】 社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門	2		○		1
【B】 調査設計と実施方法に関する科目	社会調査の方法※	4			◎	1
【C】 基本的な資料とデータ分析に関する科目						
【D】 社会調査に必要な統計学に関する科目	社会統計学の基礎	2		○		2
【E】 量的データ解析の方法に関する科目	量的データ解析の方法		2		○	2
【F】 質的な分析の方法に関する科目	開講しない					
【G】 社会調査の実習を中心とする科目	社会調査実践Ⅰ※	2		○		2
	社会調査実践Ⅱ※	2			○	2

## ※履修上の注意

「社会調査の方法」を修得していない者は、「社会調査実践Ⅰ」を履修することはできない。また「社会調査実践Ⅰ」を修得していない者は、「社会調査実践Ⅱ」を履修できない。

## 社会調査士資格申請方法

まず、(1)の条件を満たしたときに社会調査士（キャンディデイト）を申請して、その後、卒業時に正規資格である社会調査士に変更手続を行う。いずれの申請も、連絡責任者（横山寿世理）を通じて、社会調査協会へ行う。

### (1) キャンディデイト（取得見込み）申請

申請の条件：3科目以上取得済みで、2科目以上履修中であること

※社会調査実践は、社会調査実践Ⅰを修得後、社会調査実践Ⅱを履修した時点で1科目として認定される。社会調査実践Ⅰのみの履修では1科目として認められないので、注意すること。

申請時期：2年次～4年次6月もしくは10月

審査料：15,000円（税別）

### (2) 資格変更申請

申請時期：卒業するとき

審査料：5,000円（税別）